

図書館だより

No. 83

📅 2月・3月の開館予定です（変更になることもあります）

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2 正○ 共◎	3 正○ 共◎	4 正○ 共◎	5 正○ 共◎	6 正○ 共◎	7 休館 中・入試
8 休館	9 正○ 共◎	10 正○ 共◎	11 休館 建国記念日	12 正○ 共◎	13 正○ 共◎	14 休館 中・入学説明会
15 休館	16 正○ 共◎	17 正○ 共◎	18 正○ 共◎	19 正○ 共◎	20 正○ 共◎	21 休館
22 休館	23 休館 天皇誕生日	24 正休 共◎	25 正○ 共◎	26 正○ 共◎	27 正○ 共◎	28 共・△
3/1 休館 卒業式	3/2 休館 振替休日	3/3 正○ 共◎	3/4 正○ 共◎	3/5 正○ 共◎	3/6 正○ 共◎	3/7 休館

開館時間

正（正道館学習室） 共（共生図書館）

〇7:00~17:00 ◎9:00~19:30 △8:30~17:00

本との付き合い方

私たちはなぜ本を読むのだろうか。

🌙 夜を乗り越える・・・又吉直樹

本は僕に必要なものでした。本当に必要なものでした。自分を不安にさせる、自分の中にある異常と思われる部分や欠陥と思われる部分が小説として言語化されていることが嬉しかった。（東京書籍「読書案内」より引用）

話題の本

📖 『成瀬は都を駆け抜ける』（宮島未奈・著）

「成瀬シリーズ3部作」の完結編です。京大卒の著者が京大生・成瀬あかりの入学式から新しい仲間との大学生活を描いています。読者は3回目の成瀬との出会いになりますが、読むたびに爽やかな風に吹かれたような気持ちになります。新しいタイプのニューヒロインの物語は現代に必須です。



📖 『僕は上手にしゃべれない』（椎野直弥・著）

吃音の悩みを抱え中学生の悠太は中学入学式の日、自己紹介のプレッシャーに耐えられず、教室から逃げ出してしまう。そんな時、「誰でも上手に声が出せるようになります」という部活動案内の言葉にひかれ放送部に。そこでの出会いから変わっていく主人公の葛藤と成長の物語。図書館で読まれています。

📖 『回復のためのレシピ』（山田奈美・著）

寒さが増し、不調も現れがちな季節に手に取られやすい1冊。例えば、眠気が取れずなかなか起きられないときは「はちみつレモン湯」。はちみつは精神安定作用をもたらしてくれます。

新着本情報

📖 『名門校の本棚』（平林理恵・編）

名門校（開成・灘・聖光学院・渋谷幕張など）の先生に聞いた、人生を支える1冊が紹介されています。直木賞作家・伊予原新さんのプロローグも収録。

📖 『教室を生きのびる政治学』（岡田憲治・著）

教室で心穏やかに安心して過ごす為に、役に立つ政治学について伝えている本です。国会でも会社でも商店街の会合でも学校の中でも、人間の行動には同じ「力学」＝「政治」が働いています。

もっと自由に集団生活を謳歌するための本です。

📖 『涙の箱』（ハン・ガン・著）

この世で最も美しく、すべての人の心を濡らすという「純粋な涙」を探す、子どもから大人まで親しめる童話。装丁が美しく、目を引きまします。

ノーベル文学賞作家ハン・ガンさんの作品です。



■ 今月のNewton情報(2026/3月号) 特集「物理と平和」核兵器の出現と未来への選択

量子力学誕生から100年、原爆投下から80年がたちました。物理学の発展は社会に計り知れない恩恵をもたらす一方で、核兵器という破壊の力も生みしました。

21世紀の今、量子科学や人工知能が驚くような勢いで発展しています。科学の発展は社会に新たな選択肢をもたらします。その選択肢を選ぶのは科学者ではなく、社会を生きる私たち1人1人です。科学と社会はどうすれば幸せな関係でいられるでしょうか。その答えを読者である私たちが探し出すための特集です。